

分野	授業教目名	単位数	時間数	履修時期	担当教師
統合分野	73 医療安全	1	15時間	2年次後期	小田 初美

テキスト(発行所)	テキスト なし
テキスト以外の教材、参考図書	適宜プリントを配布する。

学習のねらい	看護・医療事故に関する基礎的知識を身につけ、事故を予防するための対策が考えられる。
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療事故に関する基礎的知識が理解できる。</li> <li>2. 人がエラーを起こすメカニズムについて理解し、人がエラーを起こす存在であることが理解できる。</li> <li>3. 医療事故を自分自身も起こす可能性がある身近な問題としてとらえることができる。</li> <li>4. 事例を通して看護業務を行う上での種々の危険因子を説明できる。</li> <li>5. 4をもとに、事故予防策が考えられる。</li> <li>6. 自分の「リスク感性」を伸ばしていこうという意欲が持てる。</li> </ol> <p>※ リスク感性: リスクを“心”で感じる力(ヒヤリハットする力・これがリスクだと思える誠実さなど)、リスク要因を読み取る力</p>

#### 学習スケジュール

回数	主題	学習内容	履修形態 他
1回	医療事故、看護事故に関する知識	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「誤り」についてのイメージ</li> <li>2. ヒューマンエラーの概念               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) エラーとは</li> <li>ヒューマンエラーとは</li> </ol> </li> <li>2) ヒューマンエラーを起こすメカニズムと予防</li> <li>3. 事故とは</li> <li>4. 医療事故とは</li> <li>5. 事故に関連した基礎用語</li> </ol>	講義
2回	リスクマネジメント 具体的な看護事故	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事故を取り巻く状況の変化</li> <li>2. リスクマネジメント</li> <li>3. 与薬関連事故の要因と対策</li> <li>4. 転倒転落事故の要因と対策</li> </ol>	講義
3・4回	KY/Tトレーニング (危険予知トレーニング)	1. 医療の現場のイラストの中に潜む危険と対策を考える	グループワーク
5・6回	事件事例分析1	1. ビデオ教材よりシーンの中の危険因子をアセスメントする	VTR グループワーク
7回	事件事例分析2	1. 事故分析手法で事例を分析する	グループワーク
8回	事件事例分析のまとめ まとめ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事件事例分析のまとめ</li> <li>2. まとめ</li> </ol>	講義

単位認定の方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 15時間のうち、12時間以上の出席があること</li> <li>2. 終講テスト・・・100点満点の60点以上で合格とする。</li> </ol> <p>1と2の条件を満たして1単位を認定する。</p>
---------	---

受講上のアドバイス	医療事故は起こしてはならないものであることは当然のことですが、今日、医療事故は多発しています。なぜ、このように事故が起こるのでしょうか。人間はエラーを起こす可能性を持っています。「自分もエラーを起こす可能性を持っている」という観点を持ち、また、複雑に絡み合う事故の要因を考え、どうすれば事故を予防し、患者さんの安全と自分自身の安全を守ることができるのかを一緒に考えていきましょう。
-----------	--

担当教員の実務経験	病院で看護師としての実務経験あり
-----------	------------------